



なると明瞭度が失われたり、最も不快な至の原因と考えられるものです。ですから振動系の質量を極減することは、再生音を原音に近づけるために絶対必要の条件となるものです。STAXが振動系の軽量化をどこまで〈実現〉しているかその数値を表でごらんください。STAXのコンデンサ型音響機器は、現在、最も軽質量の振動系をもって、《音のオリジナル》に接近しています。

- カートリッジ《針先から見た実効質量》

STAX, CPS-40	0.6 mg
STAX, CP-15V	0.8 mg
ムービング・コイル型(デンマーク製)	約 4.5 mg
ムービング・マグネット型(日本製/米国製7種の平均値)	約 3.5 mg
- スピーカ/ヘッドフォン《振動板の厚さ》

STAX, ESS-3A/6A	スピーカー	数ミクロン
STAX, SR-1	ヘッドフォン	数ミクロン
ダイナミック型	ホーン・スピーカー	50~150 ミクロン
ダイナミック型	コーン・スピーカー	数百~数千 ミクロン
人間の鼓膜		300~500 ミクロン